

1/30

## テレビ・ラジオで地域防災を強化

KBCと防災パートナーシップに関する協定を締結

九州朝日放送株式会社(KBC)と「防災パートナーシップに関する協定」を締結しました。

両者が連携することで、災害発生時や、その恐れがあるときに、市はKBCに対して迅速に情報提供をし、KBCはその情報をテレビやラジオなどで視聴者に対して迅速に発信することで被害の軽減、安全の確保に努めます。

また、KBCが所有する災害に関する映像の提供な

どを受けることで地域防災対策の強化を図ります。

協定書への署名後には、KBCの和氣(わけ)社長が「今日がスタート。この協定が有効なものになるように、一つ一つ積み重ねていけたら」と話し、藤田市長は「この協定により、市民の皆さんへの情報発信が円滑かつ的確にできると確信しています」と話していました。



協定書に署名をする和氣社長(左)と藤田市長(右)



KBC制作の災害ドキュメンタリーDVDも併せて贈呈

2/11

## 文化に触れ、ゆるり楽しむ

スローライフ2020～まつり筑紫野星あそび～

文化会館にて、開館35周年を記念して開催された「スローライフ」。「星」をテーマに、ステージでは宇宙映像と音楽をバックに宇宙の話を語る「スペースファンタジーライブ」や、市内の団体などのダンス、演奏が行われました。

また、多くの福祉団体が参加した工作の体験コーナーやバザーもあり、訪れた人はさまざまな文化に触れ、楽しんでいました。



『星に願いを』などを演奏する九州シンフィルの皆さん

1/18

## ボランティアを通して交流を

筑紫野市ボランティアバンク「ふれあいデー」

ボランティア登録者を学校や地域のイベントなどに派遣する「筑紫野市ボランティアバンク」。生涯学習センターでこの日、工作などを通して子どもたちと交流する「ふれあいデー」が開催されました。

主催する「筑紫野市ボランティアバンクの会」会長の茶園 実さんは「ボランティアをしたい人はたくさんいます。交流をしながら、その機会を増やすことができれば」と話していました。



牛乳パックを使ったキュービクパズル作り